

Contents —主な記事—

◆特集 令和 7 年度池田町の財政事情「決算」

◆令和 8 年池田町議会第 3 回定例会議 一般行政報告

◆地域の方々から問いを学ぶ 池田高 1・2 年生がミニ探究

◆地域おこし協力隊活動報告 ～柴草隊員が10月で卒業!!

◆9 月着任の地域おこし協力隊を紹介します

◆池田保育園・池田カトリック幼稚園 入園申し込みのご案内

◆宝くじ文化公演「星屑の町～忘却篇」のご案内

◆町長と「ふれあいトーク」しませんか？

◆定住促進住宅、公営住宅などの入居者を募集 ほか

今月の表紙

いけだ通学合宿（9月14日、西部地域コミセン）
教育委員会主催の「いけだ通学合宿」が9月13～16日に行われ、池田小学校の児童12人が参加。この日は、池田高校の生徒や学校支援ボランティアの方に教わりながら、夕食にギョーザとシチューを作りました。





地域の方々から問いを学ぶ 池田高1・2年生がミニ探究

池田高校（佐藤秀樹校長、生徒63人）の1・2年生47人を対象にした「ミニ探究」が、9月16日に行われました。

この授業は、地域の方々とのお会いや体験を通して、「探究のタネ」を見つけたことを目的に、全5回実施。第3回となる今回は「ワイン城と観光」「池田町と観光・プランニング」「多文化共生」「森林・フンベ山」「清見ヶ丘公園と市街地活性化」の5グループに分かれ、テーマに関連する場所でのフィールドワークなどを行っていました。



行いました。

「ワイン城と観光」グループでは、一般社団法人いけだワイン城の佐藤茂樹（さとうしげき）統括マネージャーが講師を務め、生徒13人が実際にワイン城を訪れました。生徒たちはワイン城の「残念なところ」を探すミッションに挑戦し、約1時間かけて施設内を探索。来館者の視点で改善が必要だと思うところを撮影し、「屋上が整備されていない」「窓の清掃が行き届いていない」など、気付いたことを報告し合いました。その後、生徒たちは「ワイン城の新たな魅力の発掘」をテーマに、再び施設内を探索していました。

今後は、体験した内容を整理し、10月に行われる全体発表会で、各テーマごとに成果を報告する予定です。



町の身近なイベントなどを紹介!!

写真でみる まちの話題

町公式SNS
「北海道池田町」
で、まちの
出来事を発信!!

フェイスブック



X
(旧ツイッター)



池田町の景色や食の魅力を発信しようと、池田高校の「課題研究」の授業で3年生2人が企画した「IKEDAサイクリング×グルメイベント」が、昨年に引き続き町内で開催されました。

この日、町内外から6人が参加し、ワイン城を出発地点に約20kmのコースを走行。ワイン城ではブドウ栽培や十勝ワインの歴史について説明を聞いたほか、池田河川事務所では河川整備の重要性について講話を受けるなど、地域の方々の協力を得ながら学びも深めていました。また、ハピネスデーリィと十勝まきばの家では地元のグルメを堪能し、池田高校では同校の生徒が考案したパフェを味わうなど、参加者はサイクリングを楽しみながら池田町の魅力を満喫しました。

池田高校 運動会 (9月28日)



地域とつながる池田高校の学び 5つのテーマで未来を探究

AI(人工知能)の進展や人口減少など、社会が大きく変化する今、正解のない問いに向き合い、他者と協働して課題を解決する力が求められています。

本年度、池田高校のキャリア教育事業が一般財団法人三菱みらい育成財団の助成事業に採択され、地域・大学・卒業生が連携する「ミニ探究」が始まりました。今回は、20人以上の大人が伴走し、1・2年次生47人の挑戦を支える「ミニ探究」の取り組みを紹介します。

文責：池田高校

池田高校
ホームページ



教員・地域・卒業生が結集！ 総勢20人超の「チーム池田」

今回のミニ探究の特徴は、教員・地域講師・メンターとして支援する卒業生・北海道情報大学の皆さんが一体となり、生徒の学びを支える点です。

7月30日には大人向け合同研修を実施し、北海道情報大学の^{やすだ みつたか}安田光孝教授



から「答えを急がず3秒待つ」「事実の変化を承認する」など、探究を支えるコーチング手法を学びました。

「教える人」から「引き出す伴走者」へ。大人たちの意識をそろえ、生徒を温かく見守る「チーム池田」が結成されました。



「IKEDA」を合言葉に、探究の一步を踏み出す

8月19日に行われたオリエンテーションでは、探究に向かう行動指針として5つのキーワード「IKEDA」が提示されました。生徒たちはこの合言葉を胸に、自分だけの「探究のタネ」を見つける一步を踏み出しました。

■5つのキーワード

I	K	E	D	A
Input	Kindness	Enjoy	Discover	Action
新しい考えを取り入れよう	仲間の意見を大切にしよう	楽しむことが学びの原動力	地域の魅力を発見しよう	失敗を恐れず行動しよう



■ミニ探究のスケジュール

回	日程	主な活動・ねらい
0	7月30日	大人向け合同コーチング研修 教員と地域講師合わせて20人超が参加し、生徒の問いを引き出す対話手法を習得
1	8月19日	出会いの場・アイスブレイク 地域講師や卒業生メンターとの交流、全体オリエンテーション、探究のタネ探し
2・3	9月2、16日	体験的学習・フィールドワーク 実際に町内の現場に足を運び、生徒自らの目で課題や魅力を確認する実地体験
4	10月14日	資料・整理・まとめ 体験内容の整理、講師のコメントによるブラッシュアップ
5	10月21日	全体発表会・講評 各テーマの代表者による成果発表、円形の段ボールを活用した振り返り

地域の専門家と学ぶ5つの探究テーマ

生徒たちは5つのテーマに分かれ、地域を舞台に探究を進めています。ミニ探究での学びをさらに深めるため、8月20日には北海道情報大学による「アイデアづくりワークショップ」が行われました。素材カードと視点カードを組み合わせる「掛け算発想法」などを体験し、アイデアを生み出す方法を学びました。現地調査とアイデア創出を組み合わせ、新しい町の魅力を探ります。



■生徒が取り組む5つの探究テーマ

森林・フンベ山



講師
ヴァルト イケダ
WALD IKEDA
代表 福家 菜緒 さん

活動内容

フンベ山を体感し、自然環境の魅力や保全について探ります

池田町と観光・ブランディング



講師
一般社団法人北海道プロデュース
代表理事 中村 真也 さん

活動内容

ビジョンマップなどを活用し、観光ブランドの価値を検証します

ワイン城と観光



講師
一般社団法人いけだワイン城
統括マネージャー 佐藤 茂樹 さん

活動内容

ワイン城でのミッション体験などを通じて、観光施策を提案します

多文化共生



講師
池田町地域おこし協力隊
地域間交流推進員 三井 香寿 さん

活動内容

SDGsと多文化共生の視点から、住みよいまちづくりを考えます

清見ヶ丘公園と市街地活性化



講師
池田町建設水道課建設管理係
係長 山本 健太 さん

活動内容

公園や市街地を調査し、にぎわいの創出策を検討します

卒業生メンターが語る「池高での学び」

大学で活躍する卒業生が「高校でのプレゼン経験が大学で大きな強みになった」「地域の方との関わりが、研究室でのコミュニケーションに役立っている」「少人数で距離の近い環境は、今思うと本当に恵まれていた」と、池田高校での経験が今につながっていると語ってくれました。

卒業生の言葉は、現役生徒が未来を描くための大きな励みとなっています。



挑戦の循環を未来へ

この事業は、生徒だけでなく、教員・卒業生・地域が共に学び合い、挑戦が循環する仕組みづくりを目指しています。10月21日には全体発表会の開催を予定しており、発表会の様子は池田高校のホームページや公式noteで紹介します。高校生ならではの視点で描く池田町の魅力にご期待ください。